

**Interview**  
**日本丸の航海楽しそう！**

盛岡市からお父さんお母さんと一緒に日本丸の一般公開に遊びに来た佐々木可奈さん、瞭くん(写真左)、潤くん(写真右)きょうだいと友達の松橋宥伎くん(写真中央)。お姉さんの可奈さんに日本丸を見学した感想を聞いてみました。



「家に日本丸のボトルシップがあるので、船の中がどのようになっているか興味がありました。船の中はきれいで広くて、個室などもあって海の上にいるという感じがしなかったけれど、甲板に出ると海がすぐ近くにあって、航海は楽しそうだなと思いました」



「わっしょい！わっしょい！」実習生のお兄さんたちと一緒に大きな声を出してヤシの実で甲板のおそうじ



市民の温かい見送りに応える実習生の皆さん

(9) 広報大船渡  
 20.8.5 (No.896)

# 帆船「日本丸」

7月19日に入港し、茶屋前ふ頭に接岸。大船渡港への入港は昭和62年4月以来で21年ぶり2回目。7月20日にはすべての帆を広げるセイルドリルが披露され、ふ頭は多くの見物客で埋め尽くされました。7月21日には一般公開され、来場者が美しい帆船の内部の見学や、実習生が普段行っているヤシの実を使った甲板の清掃体験などを楽しみました。

7月23日の出港セレモニーには多くの市民が訪れ、日本丸を盛大に見送りました。日本丸は市民の見送りに帆船最高の礼「登しょう礼」で応えてくれました。



長蛇の列ができるほど人気を集めた一般公開



出港セレモニーで披露された登しょう礼は、市民に大きな感動を与えてくれました

# 船の一般公開・体験航海

# 客船「飛鳥II」

7月23日に入港し、野々田ふ頭に接岸。大船渡港への入港は3年連続3回目で、先代「飛鳥」から通算すると17年連続21回目。当日は、抽選で選ばれた皆さんが豪華な船内の見学を楽しみました。また、ふ頭には、くるみもちなどを試食できる鷹生ふるさと味コーナー、ラベンダーグッズ製作や地元の和菓子づくりを体験できるコーナーが設けられ、乗船客の皆さんが市民と交流を深めました。

出港時には、多くの市民がふ頭を訪れ、飛鳥IIを温かく見送りました。



飛鳥IIの入港を手旗信号で歓迎した大船渡海洋少年団(写真手前)と陸前高田市の広田マリキッズ(写真奥)



応募者1,134人の中から抽選で選ばれた150人の皆さんが優雅な船内の見学を満喫



乗船客の皆さんに豪快な舞を披露した綾里大権現



多くの市民が見送る中、出港する飛鳥II